



【速報】Automotive SPICE アセスメントのリモート実施が許可されます

新型コロナウイルスの影響により活動が制限されているかと思いますが、皆様いかがお過ごしでしょうか。海外では日本より強い活動制限が出されている国が多く、アセッサートレーニングや Automotive SPICE のアセスメントを従来通りの対面スタイルで実施することが難しいという状況に直面しています。このような事態に対し、intacs では Web 会議形式によるアセッサートレーニングおよび Automotive SPICE アセスメントの実施を可能とするための指針を急遽まとめました。

[intacs 認定トレーニング]

Web 会議形式での実施対象となるトレーニングは、「intacs 認定 Provisional アセッサートレーニング」、および「intacs 認定 VDA Automotive SPICE ガイドライントレーニング」です。

また、Provisional アセッサートレーニングもオンラインでの実施に向けて準備が進められており、日本語版の試験も6月から実施予定となっております。当社で予定している6月の Provisional アセッサートレーニングも日本語での試験となります。トレーニング中のアセスメント演習につきましても、円滑に実施できるようインストラクターを増やして対応いたします。

なお、Web 会議形式での実施は、現時点では 2020 年 10 月 31 日までの期間を予定しています。

[Automotive SPICE アセスメント]

intacs では Web 会議形式でのアセスメント実施のためのガイドラインを取りまとめているところです。現時点ではガイドラインが正式に発行されていませんが、ガイドラインには以下のような指針（重要なもののみ抜粋）が含まれる予定となっております。

1. アセスメントスポンサー（依頼主）に、Web 会議形式で実施することの合意を得ること
2. インタビュー時間を通常よりも長く取り、休憩時間も十分に確保すること
3. 対面でのインタビューよりも難易度が高くなることを考慮し、十分な経験を持ったアセッサーによってアセスメントチーム編成をすること
4. インタビューにおいてボディランゲージによるコミュニケーションが取れるように、ビデオ表示を用いること
5. Web 会議に使用したインフラやツール、各参加者の拠点に関する情報をアセスメント報告書に追記すること
6. アセスメントログに Web 会議形式のリモートアセスメントである旨を追記すること
7. Web 会議形式のアセスメントでは、Competent アセッサー候補者に対するオブザベーションを行わないこと

[アセッサー資格更新の救済策]

上記のように Web 会議形式でのアセスメントが許可されても、当初予定されていたアセスメントのキャンセルや延期によって、アセッサー資格更新期限までに必要な EE をすべて獲得できないという状況の方もいらっしゃると思われます。



そこで、Automotive SPICE アセッサー資格を所管する VDA QMC では、資格更新期限を 6 ヶ月間延長する救済措置を設ける予定です。この 6 ヶ月間の間に獲得した EE も資格更新に適用することができます。ただし、この延長された期間は次の資格更新期間の中に含まれますので、今回 6 ヶ月の延長を適用して資格更新された方は、次回 2 年 6 カ月後の資格更新となります。また、延長期間内に獲得した EE は次回の資格更新時には使用できませんのでご注意ください。（同じ EE は二度使用できません）

[VDA Automotive SYS Conference 2020 の開催可否判断]

2020 年 6 月 16 日～18 日にドイツ ポツダムにて VDA Automotive SYS Conference 2020 の開催が予定されておりますが、その開催可否判断は、新型コロナウイルスの状況に基づき 4 月末に最終判断が行われる予定です。

[intacs、VDA の方針に基づく当社の支援方針]

当社は、intacs、VDA QMC の方針に基づき、上記内容が確実に実施され、この難局を乗り切れるよう皆様を支援して参ります。intacs 認定トレーニングおよび Automotive SPICE アセスメントの Web 会議形式での実施を当社でも早急に開始いたします。

また、今回の指針発表により、日本の企業においても、海外の顧客からリモートでアセスメントを受けたり、逆に海外の開発委託先へリモートでアセスメントを実施する機会が増えてくるものと思われます。特に国を越えて異なる言語で行うリモートアセスメントでは、通常よりも難しい意思疎通の場面が想定されます。このような状況に対し、当社では経験の高い通訳およびアセッサーによるリモートでの支援サービスも検討しております。ご要望がございましたら、お気軽にお問い合わせください。

2020/04/20 田淵 一成